

大会3日目 11月18日

ベストプラクティス賞・野中賞講演会 第1会場 9:00～9:50

自主プログラム7 第4会場 9:00～10:30

「はじめよう！IMR」入門編 Illness Management and Recovery: 疾病管理とリカバリー

○内山 繁樹¹、中村 亮太²、渡辺 厚彦³、岸 貴雅⁴、池田 直矢⁵、古屋喜代子⁶

¹関東学院大学看護学部 看護学科、²医療法人積愛会 横浜舞岡病院・横浜市立大学医学部精神医学、

³横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床心理室、⁴医療法人社団清心会 藤沢病院、

⁵医療法人社団柏水会 初石病院、⁶医療法人誠心会 神奈川病院

自主プログラム8 第5会場 9:00～10:30

ピアスタッフの職場開拓について～カスタマイズ就労の観点から考える～

○中原さとみ¹、堀川 正志¹、中村 孝¹、内川 昭彦²、野中麻衣子²

¹リカバリーキャラバン隊、²ヒューライフ 水道橋キャリアセンター

自主プログラム9 第6会場 9:00～10:30

ワールド・カフェ：当事者の『語り』から生まれる未来～メンタルヘルスの未来を語り、未来を創造しよう～

○船越 明子¹、栄 セツコ²、増川ねてる³

¹兵庫県立大学看護学部、²桃山学院大学社会学部、³NPO法人東京ソテリア

学会企画シンポジウム 第1会場 10:00～12:00

コーディネーター：伊藤順一郎（メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ）

相澤 欽一（障害者職業総合センター）

精神障害リハビリテーションにおけるチーム支援の可能性

下平美智代（認定NPO法人リカバリーサポートセンター ACTIPS）

花立 幸代（医療法人欣助会 吉祥寺病院）

肥田 裕久（医療法人社団宙麦会）

田尾有樹子（社会福祉法人 巣立ち会）

指定発言：佐々木理恵（WING-NETWORK すぺいろ）

口頭発表9【実践】 第3会場 10:00～11:30

座長：羽根 潤子（久留米大学病院精神科デイケアセンター）

リカバリー2、ピアサポート

O9-1 ピアスタッフとして働くことの現実とこれから～メンバーとスタッフの間に立つて～

○川畑 良二、佐抜 洋平、馬場 冠治

医療法人慈和会 大口病院

O9-2 バンドクラブで「自分らしさ」を取り戻した青年期患者へのアプローチ

○川内 浩敬

医療法人精翠会 吉田病院 精神科デイケアセンターあおぞら

09-3 ピアサポート協会 きらりの集い2017in名古屋 開催報告

○三桶 裕嗣¹、 瀧野 真広^{1,2,5}、 石川 恵己^{1,3,5}、 安田 恵子^{1,2,5}、 増川ねてる^{1,4}

¹きらりの集い2017in名古屋 実行委員会、²愛知県精神医療センター、³特定医療法人共和会 共和病院、
⁴特定非営利活動法人 東京ソテリア、⁵あいちリカバリー&地域支援ネットワーク

09-4 当事者と共に作る新しい支援のかたち、事業所運営のかたち

○松下 航^{1,2}、 齋藤 希実^{1,2}、 原口 泰裕¹

¹障害者地域生活支援センター のぞへの杜、²久留米市南部障害者基幹相談支援センター

09-5 理想的な人間関係作りを目指して～ JHC 志村の取り組みより～

○前北 路子、 舟田 安男、 坂本久美子

社会福祉法人 JHC 板橋会 JHC 志村

09-6 発達障害を有し性同一性の問題を抱えるメンバーに対するデイケア支援の検討

○霜山 祥子¹、 森井 智美^{1,2}、 五十嵐美紀^{1,3}、 横井 英樹^{1,3}、 水野 健¹、 加藤 進昌⁴

¹昭和大学附属烏山病院、²昭和大学精神医学講座、³昭和大学発達障害医療研究所、
⁴公益財団法人神経研究所附属晴和病院

市民公開講座 第2会場 10:30～11:30

座長：内村 直尚(久留米大学 医学部神経精神医学講座)

負の力 ネガティブ・ケイパビリティ-答えの出ない事態に耐える力-

○帚木 蓬生

通谷メンタルクリニック

自主プログラム10 第4会場 10:30～12:00

「語りあおう！IMR」Illness Management and Recovery: 疾病管理とリカバリー

○中村 正子¹、 吉見 明香²、 横澤 直文³、 藤田 英美⁴、 武井 寛道⁵、 加藤 大慈⁶

¹公益財団法人復康会 鷹岡病院、²横浜市立大学医学部精神医学、³明治学院大学心理学部、
⁴横浜市立大学附属病院心理室、⁵医療法人社団清心会 藤沢病院、
⁶戸塚西口りんどうクリニック・横浜市立大学医学部精神医学

自主プログラム11 第5会場 10:30～12:00

就労支援に役立つ認知機能リハビリテーション (VCAT-J)

○松田 康裕¹、 梅田 典子²、 佐藤さやか³、 岸本 年史¹

¹奈良県立医科大学 精神医学講座、²NPO 法人 NECST 障害者就職サポートセンター ビルド、
³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 社会復帰研究部

自主プログラム12 第6会場 10:30～12:00

仲間と共に行動・経験し成長する 「森の風 編集部」～私の頑張るを考える～

○萩原 薫季¹、 森 玄房¹、 森 常俊¹、 本田 暁¹、 藤井久彌子²、 塩田 勝利³

¹医療法人生々堂厚生会 森病院、²獨協医科大学 精神神経医学講座 准教授、
³自治医科大学 精神医学教室 准教授

ランチオンセミナー4 第3会場 12:00～12:50

座長：内野 俊郎 (久留米大学 医学部神経精神医学講座)

精神科リハビリテーションにみる「スティグマ」、「アンチ・スティグマ」ー「病院作り」から「街づくり」の中でー

堀川 公平

医療法人コミュニテ風と虹 のぞえ総合心療病院

共催：大塚製薬株式会社

ランチオンセミナー5 第4会場 12:00～12:50

座長：吉田 卓生 (医療法人静光園 第二病院)

作用特性から新規睡眠薬の立ち位置を考える

小鳥居 望

久留米大学医学部 神経精神医学講座

共催：MSD 株式会社

ランチオンセミナー6 第6会場 12:00～12:50

座長：橋爪 祐二 (久留米大学 医学部神経精神医学講座)

睡眠時無呼吸症候群合併による精神疾患・リハビリテーションへの影響について

小曾根基裕

東京慈恵会医科大学精神医学講座

共催：帝人在宅医療株式会社

特別講演2 第1会場 13:00～14:00

座長：田中 秀樹 (早稲田大学人間科学学術院)

エビデンスに基づく実践 (EBP) とパーソナルリカバリーの時代

The Decades of Evidence Based Practice and Personal Recovery

○池淵 恵美

帝京大学医学部精神神経科学講座

□頭発表10【実践】 第2会場 13:30～15:00

座長：神谷 牧人 (株式会社アソシア)

就労支援・障がい者雇用2

○10-1 生活支援担当と就職支援担当の役割分担による就労支援の試み～弱音を吐露しても「就職できる自分」の自尊心を損なわない支援～

○宮城 由利、宮本 紗綾、馬場麻里子

医療法人社団東峰会 Small Stepsなゆた

○10-2 自殺の対人関係理論 (ジョイナーモデル) を活用したリスクケースの就労支援

○藤井 友紀

LITALICOワークス大阪梅田北

○10-3 職場定着について就労移行支援事業所が行う企業支援の試み・調査発表

○高橋亜矢子¹、杉山 明子²

¹ウエルビー株式会社 就労移行支援部 支援開発係、

²ウエルビー株式会社 就労移行支援部 ウェルビー北千住駅前センター

○10-4 日伊共同就労支援プロジェクトの実践報告

○塚本さやか、増川ねてる
特定非営利活動法人 東京ソテリア

○10-5 B型事業所から復職へ

○二川 康大、榎本歌代子、熊倉 周平、仙波華奈子
共同作業所 オーク

○10-6 高次脳機能障害者への職場復帰から職場定着に係る一考察～雇用管理の視点から～

○中島吾木香^{1,2,3}

¹株式会社ワイズテーブルコーポレーション 人事総務グループ、

²NPO法人東京ソテリア 地域活動支援センターはるえ野、³リーチュエ ショートケアクリニック

口頭発表 11【実践】 第3会場 13:30～15:00

座長：谷口研一郎（より添いとたい話の診療所）

アウトリーチ

○11-1 SMARPPと訪問看護導入で治療継続できたアルコール依存症の2症例

○植原 亮介
社会医療法人 平和会 吉田病院

○11-2 10年引きこもっていた女性のニーズに合わせたアウトリーチ支援から見えてきたこと

○逆井 裕美、下平美智代、上田 昌広、山崎さおり、齋藤 和彦
認定NPO法人リカバリーサポートセンター ACTIPS 訪問看護ステーションACT-J

○11-3 「障害者の一人暮らしを支える支援」について考える ～横浜市障害者自立生活アシスタント事業の実践から～

○伊藤佐恵子¹、望月 明広¹、加藤宏一郎²、伊藤未知代³

¹公益財団法人横浜市総合保健医療財団 横浜市神奈川区生活支援センター、

²公益財団法人横浜市総合保健医療財団 横浜市磯子区生活支援センター、

³公益財団法人横浜市総合保健医療財団 横浜市総合保健医療センター

○11-4 コミュニケーションがとれない児へのアウトリーチ支援

○豊丸 雅恵、池田 耕治、戸川 直樹、楮山 敏博、岡村 啓大、
アトラス福岡チームスタッフ一同
訪問看護ステーションアトラス福岡

○11-5 アクト利用者家族の交流のための場づくり～家族のエンパワメントにむけて～

○安永 彩、津田 祥子
一般社団法人 Q-ACT

自主プログラム 13 第4会場 13:30～15:00

グループホームにおける高齢精神障害者の地域生活支援の現状と課題

○和田 大史^{1,5}、山中 光子^{2,5}、西田 元樹^{3,5}、吉田 光爾⁴

¹特定非営利活動法人 はんどいんど東総、²社会福祉法人 サンワーク、

³特定非営利活動法人 ほっとハート、⁴昭和女子大学、⁵ちば精神障害者の居住福祉を語る会

自主プログラム 14 第5会場 13:30～15:00

「地域を作ろう 私達(当事者)も知りたくなかった仲間の声」
～当事者ニーズアンケート調査のプロセスと結果の報告から～

○瀧本 里香¹、深井 浩治²、澤田 高綱²、川田 剛^{2,3}、浅田 和徳⁴、國井 淳子⁵

¹日本社会事業大学大学院博士後期課程、²特定非営利活動法人 共に歩む市民の会/当事者、
³横浜市旭区生活支援拠点ほっとぽっと、⁴特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族会連合会、
⁵横浜市旭区鶴ヶ峰地区民生委員

自主プログラム 15 第6会場 13:30～15:00

ピアスタッフと専門職の協働を考えるⅡ ーともに働く上での課題をどう乗り越えるのかー

○岩崎 香¹、中田 健士²、内布 智之³、坂本智代枝⁴、栄 セツコ⁵

¹早稲田大学 人間科学学術院、²株式会社MAR S、
³一般社団法人日本メンタルヘルスピアサポート専門員研修機構、⁴大正大学、⁵桃山学院大学

大会シンポジウム 2 第1会場 14:00～16:00

コーディネーター・座長：倉知 延章(九州産業大学国際文化学部)
内野 俊郎(久留米大学医学部)

リカバリーを目指した支援のこれまでとこれから

倉知 延章(九州産業大学国際文化学部)

磯田 重行(リカバリーくるめ、日本ピアスタッフ協会会長)

坂本 明子(久留米大学文学部)

渡邊 雅文(熊本県立こころの医療センター)

指定発言：池淵 恵美(帝京大学医学部)

口頭発表 12【実践】 第2会場 15:00～16:30

座長：吉田 光爾(昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科生活機構研究科)

認知機能リハビリテーション、その他1

○12-1 認知機能活性化リハビリテーションCATを導入した統合失調症者の事例報告

○木納 潤一¹、高野 隼²、坂井 一也³、上嶋 倫子⁴、中井 康治⁴、渡邊 和子³

¹医療法人鴻池会 秋津鴻池病院 リハビリテーション部、²関西医科大学総合医療センター 精神科デイケア、
³星城大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻、⁴医療法人鴻池会 秋津鴻池病院 精神科デイケア

○12-2 新卒で地域(アウトリーチ)に出たACTチームでの3年間の歩み

○長谷川祐太¹、香田真希子²、岡崎 公彦¹

¹岡崎クリニック、²目白大学

○12-3 精神科病院における精神保健福祉士の業務を振り返る ～連携・連絡調整業務に焦点を当てて～

○松永 千絵

神戸女学院大学 精神保健福祉実習室

○12-4 高校卒業資格がとれる福祉サービス～定時制高校と連携したアソシアの新たな実践～

○後藤 歩¹、呉屋 正太¹、安里 強平¹、下地 睦美¹、安里 光樹¹、勝又 翼²

¹(株)アソシア アソシア社会大学、²ルネサンス豊田高校

口頭発表13【実践】 第3会場 15:00～16:30

座長：石田 哲也(久留米大学医学部神経精神医学講座)

その他2

○13-1 グループワークとしての演劇ーイベント発表に向けてー

○川中子 有

医療法人社団榎会 榎本クリニック

○13-2 医療や福祉サービスの狭間にある若者に対するかながわプレジヨブスクールの取り組み

○渡部恵梨子¹、金山 正恵¹、鈴木 弘美¹、羽田 舞子²、加瀬 昭彦³

¹横浜メンタルネットサービスネットワーク、²筑波大学付属病院、³横浜舞岡病院

○13-3 発達障害者の地域移行のための生活支援～生活訓練施設(宿泊型・自立訓練事業)における関わりから～

○児玉ちなみ¹、藤高いつ子¹、榎林理一郎²

¹医療法人周行会 精神障害者生活訓練施設樹、²医療法人周行会 湖南病院

○13-4 発達障害者の多角的支援を形にする活動ー見えてきたニーズと課題ー

○渡部 良子、加藤 郁子、小出 富恵、小西 亮、大門 一司

滋賀県立精神医療センター地域生活支援部デイケア

自主プログラム16 第4会場 15:00～16:30

発散的思考を伸ばし、内発的動機付けを高める介入 ～デイケアプログラムでの工夫を手掛かりに～

○佐々木真一

長谷川病院デイケア科

自主プログラム17 第5会場 15:00～16:30

ひきこもりを乗り越えー僕たちの変化

○Yong Kim Fong Roseline^{1,2}、佐藤このみ²、深川 純一²、藤井 淳一²

¹秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座、²特定非営利活動法人光希屋(家)

自主プログラム18 第6会場 15:00～16:30

ソーシャルアクションとしての政策決定過程への当事者委員の参画:地方精神保健福祉審議会に関わる当事者委員、行政担当者らの声

○松本真由美¹、原田 幾世²、矢部 滋也³、高橋 朋克⁴

¹日本医療大学 保健医療学部、²元日本ピアスタッフ協会、³北海道ピアサポート協会、⁴相模原市役所

閉会式 第1会場 16:45～

ポスター発表 2日目 11月17日(金) 13:00～14:00 ([P-研究1～19] [P-実践1～9])
3日目 11月18日(土) 13:00～14:00 ([P-実践10～31])

P-実-10 発達障害児療育現場におけるコラージュ療法の継続的实践

○天野 直

P-実-11 精神科デイケアにおけるメンバー主体のSSTを実践して

○有田 薫

医療法人恵生会 南浜病院

P-実-12 精神科急性期治療病棟と精神科デイケア合同開催によるIMR実践報告～入院中から退院後までの一貫した支援を目指して～

○伊藤 賢司

医療法人 内海慈仁会 姫路北病院

P-実-13 「働きたい」を応援！アウトリーチで取り組んだ就労支援のカタチ

○市川 泉

佐賀ACT plus より添いとたい話の診療所

P-実-14 (演題取り下げ)

P-実-15 ピアとの協働を通して～デイケアが地域でできること～

○佐抜 洋平、川畑 良二、馬場 冠治

医療法人慈和会 大口病院

P-実-16 当事者の就労における定着支援の重要性—東大デイホスピタルの実践から—

○小澤 藍¹、藤枝由美子¹、石橋 綾¹、矢島 明佳¹、株元 麻美¹、管 心^{1,2}

¹東京大学医学部附属病院リハビリテーション部、²東京大学医学部精神医学教室

P-実-17 就労に向けての必要なステップの「見える化」への取り組み

○神崎 寛明、木村 久子、渡邊 史朗、坪内 友美、鈴木 純恵、池田 明子

社会福祉法人 らっく

P-実-18 精神障害者の企業定着支援における障害者同士のナチュラルサポートの構造

○田尻 博美

株式会社LITALICO LITALICO ワークス福岡中央

P-実-19 JHC 秋桜が就労継続支援B型事業所として求められているもの

○青木 龍也、奈良 郁美

社会福祉法人 JHC 板橋会 就労継続支援B型事業所 JHC 秋桜

P-実-20 「精神障害者の居場所」としての役割を持つひあしんす城北の現状と今後の課題～多様な価値観が共生できる作業所を目指して～

○篠野 哲也、奥野 雄太

特定非営利活動法人いたばし ひあしんす城北

P-実-21 “活動の提供と個別面談により主体性が向上した10代統合失調症の事例”

○山岡 光里¹、水野 健²

¹昭和大学附属烏山病院 作業療法士、²昭和大学附属烏山病院リハセンター

P-実-20 「精神障害者の居場所」としての役割を持つひあしんす城北の現状と今後の課題～多様な価値観が共生できる作業所を目指して～

○篠野 哲也、奥野 雄太
特定非営利活動法人いたばし ひあしんす城北

P-実-21 “活動の提供と個別面談により主体性が向上した10代統合失調症の事例”

○山岡 光里¹、水野 健²
¹昭和大学付属烏山病院 作業療法士、²昭和大学付属烏山病院リハセンター

P-実-22 統合失調症患者への地域移行支援の実践—当事者のニーズを探るための取り組みと課題—

○高田 雅章、大岩 早織
社会福祉法人つばき会 地域生活支援センターあん

P-実-23 退院支援における多職種連携の実態と課題—院内アンケート調査から見えてきたもの—

○山本 綾子、三好 哲也
三重県立こころの医療センター

P-実-24 メンタルヘルス教育啓発活動発信基地として『こころの病気を学ぶ授業10年間の実践報告』

○田淵 泰子
医療法人万成病院 多機能型事業所ひまわり

P-実-25 精神科病院長期入院者の効果的退院促進・地域定着支援モデル実践ガイドラインの検討—統合支援チームの試行評価調査から—

○高野 悟史^{1,5}、古屋 龍太²、大島 巖²、中越 章乃^{3,5}、瀧本 里香^{2,5}、山下 眞史^{4,5}
¹医療法人財団青溪会駒木野病院、²日本社会事業大学、³神奈川県立保健福祉大学、
⁴特定非営利活動法人ネオ、⁵日本社会事業大学社会福祉学研究所大学院

P-実-26 精神障害者向け通達型グループホームにおける単身生活への移行に関する報告

○鈴木 一広¹、水野 高昌²
¹特定非営利活動法人おれんじはあと グループホームなんがいがい、
²茨城県立医療大学 保健医療学部 作業療法学科

P-実-27 ヨーガ療法士と共にデイケアプログラムを立ち上げるまでの取り組み

○田中由紀子¹、大嶺 靖子¹、濱谷 洋子¹、里見 春奈¹、倉金 智子¹、松元 浩亮¹、
伊藤 寿彦¹、武藤 直子¹、梶原多江子^{1,2}、原田 生穂^{1,2}、須田 育^{1,2}
¹国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院、²(社)日本ヨーガ療法学会

P-実-28 デイケア多職種チームで臨んだ栄養指導と連動プログラムの試み

○藤村 智代、小野寺あおい、帷子 弘樹、藤原 隆之、小山田良子、関口 陵子、鈴木 歩、
久保田嘉子、川戸 静香
社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院 社会復帰支援室

P-実-29 「まちなか・おしごと・創出事業」から考える地域におけるリカバリーの見える化について

○峰松 弘子
一般社団法人長崎キャリア支援センター ジョブマッチネットワーク長崎

P-実-30 インテンショナル・ピアサポート研修が支援者に与える影響—アンケート及びインタビュー結果から—

○大川 浩子¹、宮本 有紀²
¹北海道文教大学人間科学部作業療法学科、²東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野

P-実-31 当事者同士が「つながる」支援の一考察～困りごとカンファレンスを通して～

○玉川 瑞季、小野 雅恵、木村 歩美
社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院